

2016 (平成28) 弘前学院大学入学式



第 64 号

(年 4 回発行)

編集発行

弘前学院大学 学
報 委 員 会

印刷所

(有)小野印刷所

4月4日(月)、2016(平成28)年度弘前学院大学並びに大学院の入学式を行いました。多くのご来賓の方々や保護者の皆様のご参列をいただき、晴れやかな中にも厳粛な雰囲気にも包まれて、192名の学生の入学を祝福いたしました。

能動的教育 (アクティブラーニング)

学長 吉岡 利忠

この度、文学部(第46回生)、社会福祉学部(第18回生)および看護学部(第12回生)、大学院社会福祉

学研究科修士課程(第14回生)および文学研究科修士課程(第12回生)、総勢192名の皆さまを弘前学院大学にお迎えすることができました。

入学された皆さんは、本年10月10日に開催が予定されており、まず弘前学院創立130周年記念式典に参加するという大変な機会を得ることになります。ご存じのように、学校法人弘前学院は聖愛中学校・高等学校を擁し中・高・大・大学院として一貫の教育を行っており、地域に根差した研究教育機関として広く知れ渡っております。弘前学院大学の大学案内の最初のページには、建学の精神「畏神愛人」、それに基づいた本学の教育の姿勢として、清新で専門性の高い教育と研究を通して幅広い文化の創造、地域や国際社会で活躍できる人材の育成、さらに学生一人ひとりに寄り添ったいわゆるオーダーメイド教育と研究指導の実践を遂行していることが謳われています。教育とは、学習者すなわち皆さまの行動に価値のある変化をもたらすプロセスのことです。この中で用いている行動は、動作を伴う行為のみならず、知識、理解、技



宣誓を行う藪田瑞月さん(社会福祉学部)

能から態度、習慣のような情意的なものまでを含みます。学習のプロセスは、社会からのニーズを受け、それを目標とし達成するためにさまざまな方法や資源を活用し、評価も行い進めまいります。これらを進めるためには、アクティブラーニング教育が重要です。これは能動的(Active)な学習であり、単に教師が演壇に立ち学生を前にして講義や演習を一方的に進めるといった受動的(Passive)な教育ではありません。学生と教師が同じ目線で進める講義や演習では、学生の興味を引き出し自然と討論、議論し合うことになり身に付くことになり

ます。そのためには少人数制で行う授業が重要です。個々の学生をよく観察することもできますし、同時に学生から教師への評価を受けることにもなります。それらの評価は教師にフィードバックされ、教育の質を高めることにもなります。アクティブラーニングは問題解決型教育とも言われます。すなわち、問題を抽出し、その解決策を学生自身が学習し調査し担当教師と討論・議論し、もつとも適切な解答を導き出す方法です。社会に出ればさまざまな問題にぶつかりま

す。それを解決する方略を考え、その姿勢こそ重要であり、社会で求められる人材として成長して行くものでありましょう。ひいては高い就職率になるものと思われま

ここ数年、文部科学省の高等教育局からは教育内容を社会に出て役立ついわゆる実践的実学的なものが必要であるとさまざまな機会に言われております。そのためには大学入学試験内容を変革しなければなら

として、知っていれば解答できるという知識を重視した入試ではなく、問題解決型の入試が数年後に導入されるということですが、また、国の施策の一つに地方創生の取り組みがあります。まち、ひと、しごと創生ですがその青森版、青森県総合戦略というのがあります。人口減少や企業活性化などに対する戦略として県内大学卒業生の地元就職率アップを強力に進めておりまして、さらに在学中には率先して学外に出て行き、また、そのようなカリキュラムを私たちは設定しており、社会との繋がりを積極的に求め周囲との絆もそうですがさまざまなイベントなどに参加する必要があります。

イベント、クリスマス音楽の夕べ、学外でも演奏を要請されており、優雅で清らかな調べは心が和みます。

どうぞ、興味のある学生さん、一緒に演奏してみませんか。また、運動部、文化部も学内外で活躍しております。部活動は先輩後輩の絆ができますし、先生方とのコミュニケーションも取れます。どうぞ、皆さまにおかれましては有意義な学生生活を経験して頂きたいと願っています。

皆さまに神様の思召しを。
God Bless You.

2016年度 特待生授与者

二〇一六(平成二八)年度の弘前学院大学特待生に、五月二十四日(火)十二時より賞状の授与が行われた。今年度の授与者は次の方々です。

- ◆文学部
 - 二年 工藤早紀 (弘前実業高校)
 - 三年 工藤将輝 (北斗高校)
 - 四年 松山菜月 (板柳高校)
- ◆社会福祉学部
 - 二年 赤平奈南 (弘前工業高校)
 - 三年 三上晴佳 (弘前高校)
 - 四年 丹藤雅代 (弘前中央高校)



本多庸一とキリスト教 (36)

学校法人弘前学院 理事長・学院長 阿保 邦弘

「本多庸一物語出版について」 学校法人弘前学院は本年創立一三〇周年を迎えた。かつて、小

生の依頼で弘前学院百年史を監修された弘前大学名誉教授相澤文蔵先生は、百年史においては紙面の制限から「本書においては本多庸一の略歴すらも取り上げるスペースはない」状態だったことを大変心残りとし、本多に関するまとまった著書の出版を実現するように頼まれていた。その際、岡田哲蔵の「本多庸

一伝」、菊池九郎先生建碑会発行の「菊池九郎先生小伝」、青山学院編集になる昭和四十三年版「本多庸一」を寄贈され機会に恵まれたときにはぜひとも本多庸一先生について発表するよう指導を受けた。

弘前学院大学には、機関紙「弘学時報」がある。これに二〇〇六(平成十八)年から「本多庸一とキリスト教」の題で三十五回にわたって掲載し、学生並びに弘前学院大学教職員、関係機関等

に紹介してきた。その場合、本多に関する情報をほぼ完璧に収録し、客観性のある人物描写に留意している青山学院編「本多庸一」(昭和四十三年版)から生涯の節目といえる部分を要約し、必要に応じて難解な字句の読み方や意味そして事情に関する解説を加えて発表してきた。今回は創立一三〇周年を機に弘学時報の記事を小冊子に編集し、できるだけ多くの「挿絵」を入れて楽しく読みやすくし、広く地

域の人々に本多の働きを知ってもらうことにした。

この出版に際しては、資料挿絵を持参して青山学院を訪問し、理事長堀田宣彌先生、院長梅津順一先生ならびに著作者 気賀健生青山学院大学名誉教授に事情を報告し出版の了解を依頼した。当方の申し出に対し、皆様の

「これは良いですね」と言っていた。……「本多」先生は一身を

た。この時が、本学院と青山学院の絆をさらに深めるものとなることを強く願うものである。

『青山学院第四代院長高木太一郎は、本多と青山学院の関係を次の言葉で最も適切に要約した。……「本多」先生は一身を

もって青山学院と同一化し、青山学院の休戚(きゅうせき)は喜ばし、戚(せき)は悲しみを以て其休戚となしたり。故に世人の先生を見るもの青山学院を思ひ、青山学院を見るもの先生を思わざるものなし。青山学院の名は、実に先生に依りて九鼎大呂(きゅうとうたいりょ)きゅううていたいりよ。重要な地位や名譽の重をなしたりしなり。」(松井和宗編『国士本多庸一先生を憶ふ』)とある。(以下次号)

*一年生については、前期成績発表後の十月に授与予定です。

研究紹介 33

ライフワークとしての「政治と教育の分離」



社会福祉学部 教授 西東 克介

私のライフワークは、「政治と教育の分離」をテーマとして...

父母と教職員の会

総会・懇談会報告

五月二十八日(土)、本学にて二〇一六年度父母と教職員の会...



第一号議案 二〇一五(平成二十七)年度活動報告及び収支決算報告について

第二号議案 二〇一六(平成二十八)年度...

第三号議案 役員改選について...

2016(平成28)年度弘前学院大学 父母と教職員の会収支予算書

Table with 5 columns: Item, Previous Year Budget, Previous Year Actual, This Year Budget, Difference. Includes rows for Income and Expenses.

Table with 5 columns: Item, Previous Year Budget, Previous Year Actual, This Year Budget, Difference. Includes rows for Operating Expenses and Special Expenses.

談話室

政治の素人による一票の格差是正案

文学部 日本語・日本文学科 准教授 坂井 任

一票の格差を是正するため、選挙区の合区や選出数の増減が行われる...

この数年ようやく「最終段階」と私が勝手に名付けたこれまでの研究の整理を行っています...



「シエンンドア大学海外研修プログラム」

文学部 英語 英米文学科 教授 楊 尚眞

昨年度末に、米国シエンンドア大学における約3週間の海外研修プログラムに参加する学生を引率した...

人事異動

- 新任: 文学部 講師 原 圭寛, 社会福祉学部 講師 佐藤 眞一, 看護学部 教授 柳澤 尚代, 事務職員 今 優希奈, 学生課 古川ありさ

退職

- 文学部 准教授 渡邊 教一, 社会福祉学部 講師 須川 公央, 看護学部 講師 八木橋鉄弘, 教授 山田なを子, 助教 三上ふみ子, 助手 長内 千穂, 事務職員 図書館事務室長 藤田 月衛, 総務課 伊藤安弥子, 総務課 清野 千尋, 総務課 成田 悠人, 学務課 木村 督彦, 学生課 齊藤 妙子

リーズバークアウトレット、ジョージ・ワシントンの事務所、ウィンチェスターメディアカルセンターなど歴史的な名所や施設に...

社会福祉学部 2016(平成28)年度 社会福祉学部学内就職セミナー 5月14日実施



社会福祉学部4年
三上健次郎

私は社会福祉士の資格を取得見込みなので、社会福祉士の資格を活かせる仕事につきたいと思っています。そこで、5月14日に校内で行われた福祉を対象とする施設説明会に参加しました。しかし、実際に説明会に参加すると介護職の募集がほとんどでした。あまり、希望する職種ではありませんでした。話を伺いました。説明会が終わった後、私の考えは180度変わりました。私は、主に相談業務に就きたいと思ってい

社会福祉学部3年 齋藤 響乃

現場の知識、現状を踏まえなくては十分な支援ができないと知ることができました。私は、本当に就きたい仕事をするには、

道のりは一つではなくさまざまな方法、手段があるとわかりました。実際に現場の声を耳にする機会がなかっただけに、非常に勉強になりました。道のりを決める選択はたくさんあると学んだので、自分なりの道を選んで進んでいきたいと思



社会福祉学部3年 齋藤 響乃

今回が初めて参加した就職セミナーであった。社会福祉学部学内就職セミナーへの参加を通して、就職セミナーがどのようなものなのかを把握することができた。福祉の職場に絞られていたため、同じ職種であってもそれぞれの施設ごとに特徴があることを実感できた。施設の方々から配布された資料から、施設の特徴、どのような施設を

務体制・取得できる資格・給料・保険や保障などそれぞれの病院によってさまざまでした。私は、まだどの領域に進みたいかも決まっていなかった。できるだけの領域を経験できて教育体制が整っている病院がいな

望遠鏡や鳥のえさを持って、週末や平日の学校終わりに私をよく公園に連れて行った。さらに、ジュディーさんは自家用の飛行機を持っていて、その操縦の免許も持っていた。飛行機が置かれていた倉庫や飛行場の広さなど、日本と違いすぎる環境に驚いた。実際に乗る前はすごく不安だったのだが、日本ではめったにないとても貴重な体験をさせてもらった。

ホームステイで、実際にジュディーさんの家で暮らしてみ、英語での日常的な会話、アメリカの文化にたくさん触れることができたと思

授業は2種類あり、パソコンを使用し発音練習をする「Lab」と、お互いの国の歴史・文化・習慣について話す「ESL」というもので、それぞれの先生が担当してくださった。まず「Lab」については、パソコンから流れる単語や文を聞き、マイクに向けて発音をする。正解するまで次の段階に進めないのと同じ問題を繰り返した時は、

ジェン・ブライウンは日本人にはあまり馴染みのない人物かもしれないが、ハーバース・フェリーでは賛否両論のある人物として有名である。彼はアメリカ系アメリカ人の解放のために武装させアメリカ兵器庫を襲わせるなど、言葉ではなく暴力によって行動を起こした。そして、解放黒人1人を含む白人7名を殺害し、10名以上を負傷させた。しかしその行動はすべて失敗に終わり、36時間のうちに海兵に

分が看護師として働いている姿があまり想像できていなかった。今、今回の就職セミナーは良い意味で現実感を持つきっかけになりました。どのような基準で自分に合った就職先を選べば良いのかかわからないまま、就職セミナーに参加したのですが、いろいろな病院をまわって話を聞いてみると教育体制・勤

就職セミナーに参加したこと、自らの就職についてより深く考えるようになった。今回は、福祉という広い幅の中で自分がどのような分野で働いていきたいか、どのような職場環境を望んでいるのかを発見することができた。これからは就職支援行事に積極的に参加し、来年からの本格的な就職活動に備えていきたいとおも

「ヒロガク生が体験したアメリカ」
文学部 英語・英米文学科3年 神 遥華

私は自他共に認めるねぶた馬鹿である。私はねぶたを愛しており、生活の一部であり、また血液でもある。「なぜねぶた好きなの？」とよく聞かれるが、わからない。

今年、私は4団体からの依頼を受け、大小5台の扇の前ねぶたと1台の大型組ねぶたを制作することとなった。私のねぶた好きに火をつけたのは、養生幼稚園のねぶたに出会ったことである。卒業生である私は、ずっと養生ねぶたに関わってきた。今

たときは、先生が何度も分かりやすく教えてくださった。そして「ESL」では、毎回授業の始めに歴史や文化のほかにホストファミリーとその日何をしたか、何を食べたかについても話した。また、ワシントンやミューアムなどへの見学に際して、事前に学んだり訪れてみた感想についても話をした。先生がとても真剣に、楽しそうに私たちの話を聞いてくれたので、よりきちんと伝えたいという気持ちになった。また、先生は私たちが理解できるように話をしてくださったし、間違えた英語を丁寧に直してくれた。先生方のおかげで毎時間楽しく授業に取り組むことができた。

ジェン・ブライウンは日本人にはあまり馴染みのない人物かもしれないが、ハーバース・フェリーでは賛否両論のある人物として有名である。彼はアメリカ系アメリカ人の解放のために武装させアメリカ兵器庫を襲わせるなど、言葉ではなく暴力によって行動を起こした。そして、解放黒人1人を含む白人7名を殺害し、10名以上を負傷させた。しかしその行動はすべて失敗に終わり、36時間のうちに海兵に

看護学部 2016(平成28)年度 第9回 学内就職セミナー 5月21日実施



看護学部3年
美奈 澁谷

先月、先生から就職セミナーが開催されるというお話をされたとき、もうそんな時期なのかとふと我に返ったような気持ちになりました。大学に入学してから気づけばもう3年も立っていて、自分がこの3年間の間に必要なことをきちんとこなせていたのか焦りと不安に駆られてきた。3年生になっても将来自

分が看護師として働いている姿があまり想像できていなかった。今、今回の就職セミナーは良い意味で現実感を持つきっかけになりました。どのような基準で自分に合った就職先を選べば良いのかかわからないまま、就職セミナーに参加したのですが、いろいろな病院をまわって話を聞いてみると教育体制・勤

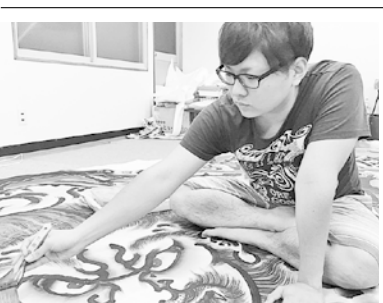


看護学部3年 美奈 澁谷

「絆」なねぶた絵を目指して
文学部 日本語・日本文学科 2年 野村 雄大

今年、私は4団体からの依頼を受け、大小5台の扇の前ねぶたと1台の大型組ねぶたを制作することとなった。私のねぶた好きに火をつけたのは、養生幼稚園のねぶたに出会ったことである。卒業生である私は、ずっと養生ねぶたに関わってきた。今

師」を題材に、3月から制作を進めてきた。扇と比べ、手間もお金もかかる組ねぶただが、また多数の組ねぶたが出陣することを私は願って制作している。さらに、今年、はじめて大型扇ねぶたも手がける。平川市の猿賀子供会の前ねぶたである。題材は「梨の木の精、曹操を悩ます」。墨の線や構図、色遣いを工夫した。骨組みに貼って、灯りの入った姿を見るのが楽しみだ。



野村 雄大

私は資料館において南北戦争で実際に使われていた銃のモデルや、その当時の実際の写真や映像を見ることで、戦争の生々しさや恐怖を味わった。このような歴史は、現地に行かなければ知ることはできなかった。英語だけでなく、海外研修で大切なことだと思

【現地の歴史を学ぶ】 文学部 英語・英米文学科3年 佐藤 香織

ジェン・ブライウンは日本人にはあまり馴染みのない人物かもしれないが、ハーバース・フェリーでは賛否両論のある人物として有名である。彼はアメリカ系アメリカ人の解放のために武装させアメリカ兵器庫を襲わせるなど、言葉ではなく暴力によって行動を起こした。そして、解放黒人1人を含む白人7名を殺害し、10名以上を負傷させた。しかしその行動はすべて失敗に終わり、36時間のうちに海兵に

四年間を充実させるために

文学部 英語・英米文学科 一年 相馬 菜奈
(聖愛高校出身)



高校生活を終えた私は新たなスタートをきりました。最初の頃は不安でいっぱいでしたが時間が経つにつれて、不安が和らぎ今ではとても充実した大学生活を送っています。さて、大学は四年という月日があります。私はまだ一年生ですが、それでも様々なことに挑戦し学んで充実した大学生活を送りたいと考えています。

まず初めに私がしてみたいと思ったのが「海外研修」です。海外研修をしたいと思ったきっかけはリトリートでの先輩方の

夢を目指して

日本語・日本文学科 一年 岩田 彩香
(五所川原第一高校出身)



入学式から早くも約二か月が経ちました。入学当初は、親元を離れて一人暮らしをする不安と、

大学での授業への不安でいっぱいでしたが、最近はどうやら大学や日々の生活に慣れてきました。大学での講義は、高校とは違い一コマの時間が長く、ノートの取り方も先生の板書を写すだけでなく、先生方が話している

お話をした。

私は外国に行きたいと思っていましたが漠然としており、行くきっかけや目的というものはありませんでした。ですが、先輩方の海外での暮らしや生活している様子などについて聞いていくうちに、私は海外に対する憧れを抱きました。また海外研修を行うことでその国の文化を学べ、自分の英語力もためすことができます。このことから、

漠然であった私の思いははつきりしたものとなり、海外研修をしたいと思うようになりました。

また私には目標としていることがありません。それは公務員として将来働くことです。私の父は公務員であり、私は幼少の頃

から父の姿を見てきました。そのためいつからか父のような公務員になりたいと思うようになりました。この弘前学院大学は就職率が100%であり、また公務員ガイダンスも行っている

と知り、目標を達成することができるとは思いません。ただ日本は他の国に比べ公務員数が少なく就職するのはとても困難な状況です。私は将来のことを考えるととても不安になりました。ですが、私はあきらめたくありません。だから私は目標に向かって努力していきます。

四年という月日は案外短いものです。充実させるためのきっかけというものはいつもどこかにあり、実現させるための時間もありません。だから、私は将来振り返るとき充実していたと思えるように、今から様々なことをしていこうと思います。

学しました。大学の講義では、高校の授業で学んだ作品も多く取り上げられますが、さらに内容を深く知ることができ、とても興味深いです。また、今まで何気なく使っていた言葉の語源や、様々な文化や風習なども知ることができ、それに関する先生方の解説や意見を聞くことができるので毎時間新しい発見があり、知識の幅が広がります。さらに、授業の中で学生同士でのディスカッションや、意見交換グループ発表がある科目もあり、

普段なかなか話す機会のない人や他の学科の学生とも交流することができ、大学は高校までとは違い、自由なことも多いですが、その分何においても自分自身の責任が重いので積極的

に授業に出席し、課題や書類の提出などには気を付けていこうと思えます。

「夢」実現のために

社会福祉学部社会福祉学科 一年 鈴木 理公
(青森北高校出身)

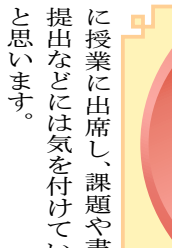


入学式から、約2ヶ月が過ぎた。第一志望ではない大学であった事、知り合いがいない事、授業は大丈夫か等の不安や戸惑いを感じていた。しかし今では、

たくさんの愉快な友人と、楽しく充実した毎日を送っている。大学の授業では、授業時間が

倍の時間になったり、ノートにまとめるのが難しかったり等、苦勞することも多い。でも、様々な先生の意見や考え方に触れることができ、自分の見聞が広がるだけでなく、思考の幅が広がる。

新入生の夢と希望



私の夢は国語教師になることです。生徒たちに楽しいと思ってもらえる授業のできる教師になるためにも、ここで様々な知識を身に付けていきたいと思います。

入学してから三ヶ月が経とうとしていきます。大学の四年間で看護師になるという夢に向かって、努力と覚悟を持って勉学に励みます。

私は、看護師になりたいと思っただけで、部活が厳しく、中学一年生の冬に倒れてしまいました。そのときに顎を三十二針縫う怪我をしました。私にとっては初めての大きな怪

この4年間をとても有意義なものにしたいと考えている。だから私は、日々の授業に集中し、頑張っていきたい。また、勉強だけでなく、社会でも自分の意見を出せるように積極性等の自分の内面を磨いていきたいと思っています。

私は、将来の夢をまだ具体的に決めていない。だが人のためになる職に就きたいと思っています。そのためには、様々な事を自分の目で見て、雰囲気を感じ、経験を積み、今の自分より、もっと大きく成長しなければならぬ。ボランティア活動等の様々な活動や新聞に目を通したりして知識を身につけることが大切だ。私は、大学の自由度高い生活に振り回されず、自分自身に磨きをかけていきたいと思います。

また、大学というところは、とても時間の使い方が大切なところだと感じた。小テストさえ範囲が広く、その日その日の授業を大切に集中して受けることが大切だと感じた。また、この4年間は、一生懸命がんばれば、きっと良い経験や自分の目標に大きく近づけることができ、授業をさぼったり等をしていけば無駄な4年間になる。私は、

目標と覚悟

目標と覚悟



看護学科 一年 粒来 啓太
(岩手県立久慈高校出身)

入学してから三ヶ月が経とうとしていきます。大学の四年間で看護師になるという夢に向かって、努力と覚悟を持って勉学に励みます。

私は、看護師になりたいと思っただけで、部活が厳しく、中学一年生の冬に倒れてしまいました。そのときに顎を三十二針縫う怪我をしました。私にとっては初めての大きな怪

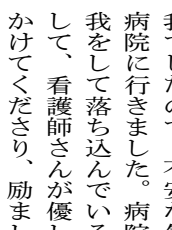
この4年間をとても有意義なものにしたいと考えている。だから私は、日々の授業に集中し、頑張っていきたい。また、勉強だけでなく、社会でも自分の意見を出せるように積極性等の自分の内面を磨いていきたいと思っています。

私は、将来の夢をまだ具体的に決めていない。だが人のためになる職に就きたいと思っています。そのためには、様々な事を自分の目で見て、雰囲気を感じ、経験を積み、今の自分より、もっと大きく成長しなければならぬ。ボランティア活動等の様々な活動や新聞に目を通したりして知識を身につけることが大切だ。私は、大学の自由度高い生活に振り回されず、自分自身に磨きをかけていきたいと思います。

また、大学というところは、とても時間の使い方が大切なところだと感じた。小テストさえ範囲が広く、その日その日の授業を大切に集中して受けることが大切だと感じた。また、この4年間は、一生懸命がんばれば、きっと良い経験や自分の目標に大きく近づけることができ、授業をさぼったり等をしていけば無駄な4年間になる。私は、

目標と覚悟

目標と覚悟



看護学科 一年 粒来 啓太
(岩手県立久慈高校出身)

入学してから三ヶ月が経とうとしていきます。大学の四年間で看護師になるという夢に向かって、努力と覚悟を持って勉学に励みます。

私は、看護師になりたいと思っただけで、部活が厳しく、中学一年生の冬に倒れてしまいました。そのときに顎を三十二針縫う怪我をしました。私にとっては初めての大きな怪

わたしの夢の大学院

社会福祉研究学科 陰山 雅美



2016年4月、弘前学院大学大学院に入学しました。私はこれまで8年間介護福祉士養成校の教員として勤務してきたのですが、長女出産時から、わが子が、親の背中を見て自信をもって育ってほしい、と願っていたのがきっかけでした。周囲の人々の支えもあり、教員になるチャンスに恵まれました。一生懸命に勤めを続けながらも、いつしか大学院進学を夢見るようになっていました。

しかし、それは自分にはとても手がとどかないことと諦めていたのです。大学での300名をこえる学生さんたちの指導でも、なかなか自分の思うようにはいかず、大学院への志望はますます強まるばかりでした。そんな時、同僚の先生から「青森には働きながら通える大学院が

にいて、中学校では県の選抜に選ばれたり、高校ではインターハイに出場できたりしました。直接もう一度会ってお礼をしたのですが、それができていません。そのため、同じ職業について、頑張ると強い決心をしました。私もあの看護師さんのように患者さんを支え、勇気を持ってもらい、励まし、一緒に寄り添える看護師になりたいと決意しました。看護師になるために知識・技術を身につけ、力

の積み重ね、努力を欠かさず精進していきます。そして、私は大学に入る前から、もう一つ思っていることがあります。それは恩返しをすることです。看護師になるという目標を応援してくれる家族に必ず恩返しをします。目標である看護師になり、お世話になった方々、家族に感謝の気持ちを伝えたいです。努力、覚悟、謙虚さを持って成長していくと共に、必ず目標を成し遂げるよう頑張ります。

ありますよ。」と声をかけていただいたのです。最初は、えっ青森？と驚きを隠せなかったのですが、「これまで年配の方が関西から青森へ通い、無事卒業されましたよ。」と聞き、即座に決意したのでした。受験のために弘前へ来たとき、担当してくださった先生方や事務の方々の優しさに心を打たれました。それでも、ここへ来て本当によかった、と確信しました。列島を縦断し飛行機で通学するなんて、夢みたいな話。44歳にして夢が二つ同時に叶えられる、いまはもう人生バラ色、家族に感謝、感謝です。このところ、毎回弘前へ来ると、日常性から離れ、いやされ、そして元気になるって家へと帰る。

これからの大学院生活では、研究にはげみ、ぞんぶんに癒やされ、そしてひとを癒やせる社会人にすこしでも近づけるよう努力していこうと思っっています。